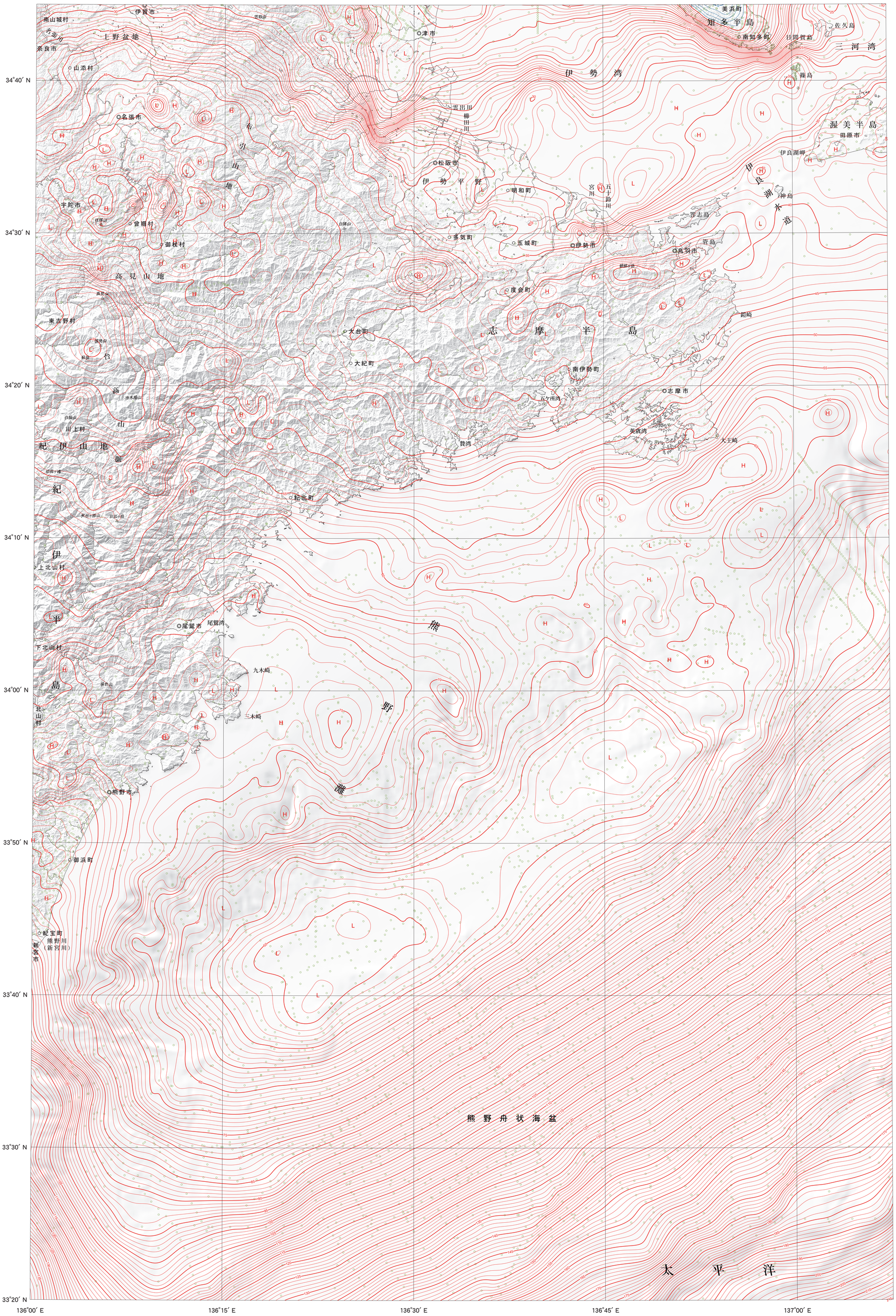
伊勢地域重力図（ブーゲー異常）

GRAVITY MAP OF ISE DISTRICT (BOUGUER ANOMALIES)

編集　宮川歩夢, 名和一成, 村田泰章, 駒澤正夫, 大熊茂雄, 石原丈実, 村上文敏　　令和4年

Compiled by Miyakawa Ayumu, Nawa Kazunari, Murata Yasuaki, Komazawa Masao, Okuma Shigeo, Ishihara Takemi and Murakami Fumitoshi in 2022.



1:200,000

0 1 5 10 15 20 km

投影法：ユニバーサル横メルカトル図法（第53帯）

Map Projection: Universal Transverse Mercator Projection (Zone 53)

著作権所有・発行者　国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター

令和4年10月26日発行

文献引用例

宮川歩夢・名和一成・村田泰章・駒澤正夫・大熊茂雄・石原丈実・村上文敏(2022)
伊勢地域重力図（ブーゲー異常）. 重力図, No. 35, 産業技術総合研究所　地質調査総合センター

BIBLIOGRAPHIC REFERENCE

Miyakawa, A., Nawa, K., Murata, Y., Komazawa, M., Okuma, S., Ishihara, T. and Murakami, F. (2022) Gravity Map of Ise District (Bouguer Anomalies). *Gravity Map Series*, no. 35, Geological Survey of Japan, AIST

凡　例
Legend

- 重力測定点 Gravity observation point
- 等重力線（1 mgal 間隔） Gravity contour (1 mgal interval)
- H 高重力域 Area of higher gravity
- L 低重力域 Area of lower gravity

編集資料

I　資料が添付されている公表文献

1) 駒澤正夫・広島俊男・石原丈実・村田泰章・山崎俊嗣・上嶋正人・牧野雅彦・森尻理恵・名和一成・大熊茂雄・佐藤秀幸・杉原光彦・西村清和・金谷　弘,志知龍一・岸本清行・木川栄一・三品正明(2013) 地質調査所重力測定値データファイル. 日本重力データベース DVD版, 数値地質図 P-2, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
2) 新エネルギー・産業技術総合開発機構(2013) 新エネルギー・産業技術総合開発機構重力測定値データファイル. 日本重力データベース DVD版, 数値地質図 P-2, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
3) 金属鉱業事業団(2013) 金属鉱業事業団重力測定値データファイル. 日本重力データベース DVD版, 数値地質図 P-2, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
4) The Gravity Research Group in Southwest Japan (Representatives: Ryuichi Shichi and Akihiko Yamamoto)(2001) Gravity Measurements and Database in Southwest Japan, Gravity Database of Southwest Japan (CD-ROM). *Bulletin of the Nagoya University Museum*, Special Report, no.9.
5) Yamamoto, A., Shichi, R. and Kudo, T. (2011) Gravity Measurements and Database in Japan, Gravity Database of Japan (CD-ROM). Earth Watch Safety Net Research Center, Chubu University, Special Publication, no.1.
6) 本多 亮・澤田明宏・古瀬慶博・工藤 健・田中俊行・平松良浩 (2012) 金沢大学重力データベースの公表. 測地学会誌, **58**, 4, 153–160.
7) 石原丈実 (2021) 白猫丸重磁力データ. 産総研地質調査総合センター研究資料集, No. 714, 産総研地質調査総合センター, 2p.
8) 宮川歩夢・名和一成・村田泰章・駒澤正夫・牧野雅彦・村上文敏・大熊茂雄・中村佳重郎・赤松純平・西村歌一・西田良平・野口竜也 (2017) 和歌山地域重力図（ブーゲー異常）. 重力図, No. 32, 産業技術総合研究所 地質調査総合センター.
9) 村田泰章・宮川歩夢 (2020) 名古屋地域重力測定データ. 重力図, No. 34, 産業技術総合研究所　地質調査総合センター.
10) 宮川歩夢 (2022) 伊勢地域重力測定データ. 重力図, No. 35, 産業技術総合研究所　地質調査総合センター.

II　その他の資料（未公表資料及びウェブ公開されている資料）

ウェブ公開されている資料

1) 海上保安庁海洋情報部 HS8001 航海による船上重力測定資料 (1980年)
2) 日仏KAIKO計画 84/1航海 重力探査資料 (1984年)

未公表資料

3) 国土地理院　重力測量資料 (1966, 1967, 1970, 1971, 1976, 1977, 1980, 1983, 1986, 1988年)
4) 米国防衛地図作成局 重力探査資料
5) 株式会社中日スタデアム 重力探査資料 (1966年)
6) 帝国石油株式会社 (現 株式会社INPEX) 重力探査資料 (1958年)
7) 滋賀県 重力探査資料 (1978年)
8) 京都大学防災研究所 生駒・有馬–高槻地域の重力調査資料 (2004, 2006年)

付　記

1) 測定重力値は日本重力基準網2016に準拠したものである.
2) 広域重力場は測地基準系1980に基づく正規重力式を使用した.
3) 地形補正は, 優先順に, 基盤地図情報（数値標高モデル5 m, 10 m）(国土地理院), 海底地形デジタルデータM7000（日本水路協会）, 500 mメッシュ水深データ（日本海洋データセンター）, 日本近海30秒グリッド水深データ（日本水路協会）を用いて作成した30 mメッシュ標高データにより, 地球の球殻を考慮して測点の周囲 60 kmまで実施した.
4) ブーゲー補正は, 地形補正の範囲に合わせて半径 60 kmの部分球殻として実施した.
5) 地形補正を除く各種の重力補正の方法は, 地質調査所重力補正手順 SPECG1988 (地質調査所重力探査グループ, 1989：地質調査所月報, **40**, p. 601-611)に基づいている. ブーゲー補正, 大地補正及び地形補正に用いた仮定密度は 2.0 g/cm³, 2.3 g/cm³, 2.67 g/cm³ の 3 種類で計算した.
6) 座標値は世界測地系に基づいている.
7) 上記未公表資料は, 当該各機関の承認を得て使用した.
8) 編集にあたっては下記の文献, 重力図を参考にした.
- 村上文敏・石原丈実・西村清和 (1977) 紀伊水道南方海底地質図　付図3 ブーゲー異常図. 海底地質図, 5, 工業技術院地質調査所.
- 駒澤正夫・牧野雅彦・村田泰章・名和一成・上嶋正人・岸本清行・大熊茂雄・伊藤　忍・中村佳重郎・赤松純平・西村歌一 (2014) 京都地域重力図（ブーゲー異常）. 重力図, No. 31, 産業技術総合研究所 地質調査総合センター.
- 宮川歩夢・名和一成・村田泰章・駒澤正夫・牧野雅彦・村上文敏・大熊茂雄・中村佳重郎・赤松純平・西村歌一・西田良平・野口竜也 (2017) 和歌山地域重力図（ブーゲー異常）. 重力図, No. 32, 産業技術総合研究所 地質調査総合センター.
- 村田泰章・宮川歩夢・駒澤正夫・名和一成・大熊茂雄・岸本清行・石原丈実・志知龍一 (2020) 名古屋地域重力図（ブーゲー異常）. 重力図, No. 34, 産業技術総合研究所 地質調査総合センター.
- 吉田賢司・矢萩智裕・平岡喜文・宮原伐折羅・山本宏章・宮崎隆幸 (2018) 日本重力基準網 2016 (JGSN2016) の構築. 国土地理院時報, no. 131, 53–93, 国土地理院.

謝　辞

本重力異常図を作成にあたり, 次の機関で取得された重力異常値を利用させていただきました. 名古屋大学, 石油天然ガス・金属鉱物資源機構, 京都大学防災研究所, 帝国石油株式会社 （現　株式会社INPEX), 国土地理院, 地学団体研究会, 米国防衛地図作成局 （現　米国国家地理空間情報局), 金沢大学, 中部大学, 中日スタデアム株式会社, 滋賀県, 海上保安庁海洋情報部, 日仏KAIKO計画. ここに記して感謝の意を表します.

印刷校訂：山谷忠大・大熊洋子

この地図の作成にあたっては, 国土地理院長の承認を得て, 同院発行の基盤地図情報及び電子地形図（タイル）を使用しました（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 124).
Base from the Geospatial Information Authority of Japan with its approval.
また, 地形陰影の作成にあたっては, 日本水路協会のM7000シリーズ海底地形デジタルデータも使用しました.

本重力図の表記は JIS A0204：2019 によります.
Presentation of this map is based on the JIS A 0204：2019.

経緯度数値は日本測地系2011によります.
Latitude and longitude values are referred to the Japanese Geodetic Datum 2011 (JGD2011)

仮定密度　：2.67 g/cm³

Assumed Density　：2.67 g/cm³

GEOLOGICAL SURVEY OF JAPAN, AIST © 2022

AIST22-G15038